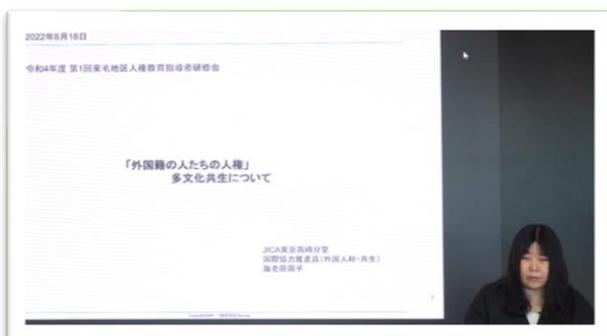


令和4年度 第1回東毛地区人権教育指導者研修会

講演 テーマ 「外国籍の人たちの人権」
演題 多文化共生について
講師 JICA群馬県デスク 国際協力推進員
海老原 周子氏



令和4年度第1回東毛地区人権教育指導者研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一堂に会しての開催は行いませんでした。そこで8月18日(木)にtsulunostudioにて講演内容を録画撮影し、公式YouTube 動画配信視聴による

研修と、各市町に視聴用貸し出しDVDを配布し、研修できるものとなりました。研修会は、各市町において、東毛地区の各市町人権教育組織員、学校教育関係者、社会教育関係者、福祉部局関係者（子育て支援主管課職員、多文化共生主管課職員）を対象に実施されました。講演は、「多文化共生について」と題しまして、外国籍にルーツをもつ子どもをとりまく課題や、私たちにできることについて具体的にお話しいただきました。

多くの御参加をいただき、大変ありがとうございました。

参加者の声

- ・「外国籍の人たちの人権」多文化共生についてということで、日本語が出来ない外国人の6割が孤独感を感じているということに衝撃を受けました。公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数は増えているので、これからの課題だと強く感じました。
- ・日本語指導が必要な児童が増えていることは感じていました。その一方、日本で生まれ育っている外国人もいます。「日本語が上手ね。」といった褒め言葉が誤解を生じてしまうということに気づかされました。また、困りごと等の課題についても共生社会に向けて今できることを取り組んでいきたいと思いました。

主催：群馬県教育委員会

共催：東毛地区人権教育推進連絡協議会